

日本地域看護学会第 24 回学術集会のご案内

メインテーマ

共生社会における新たな地域看護の挑戦

会期： 2021 年 8 月 27 日（金）～9 月 26 日（日） オンデマンド配信

2021 年 9 月 11 日（土）～9 月 12 日（日） ライブ配信

会場： Web 開催（参加には個別認証によるログインが必要）

学術集会 URL : <https://confit.atlas.jp/jachn24>

ご挨拶

さて、この度、日本地域看護学会第 24 回学術集会を、2021（令和 3）年 8 月 27 日（金）～9 月 26 日（日）に、オンラインで開催させていただくにあたり、ご挨拶を申し上げます。

保健医療福祉職の皆様が、「新型コロナウイルス感染症」の感染拡大から人々の生命を守るために、日夜ご尽力してくださっていることに心より敬意を表します。このような状況の中、感染拡大防止の観点と、多くの皆様にご参加いただけるようにと考え、オンライン開催とさせていただくことになりました。

日本地域看護学会は、1997（平成 9）年に、地域看護学の学術的発展と教育・普及を図り、人々の健康と福祉に貢献することを目的として創設され、2014（平成 26）年には一般社団法人となり、2017（平成 29）年には 20 周年を迎えました。2019 年には、「地域看護学」を保健師、助産師、看護師の看護職に共通して求められる知識や能力を培う基盤となる学問と再定義し、さらなる発展を続けております。

第 24 回学術集会のテーマは「共生社会における新たな地域看護の挑戦」といたしました。「共生社会」とは、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会です。地域看護は、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源をつなげ、住民一人ひとりの暮らしと生きがいを地域とともに創っていくことに大いに貢献するものです。共生社会とは何か、地域看護が共生社会に何をなし得るのかを、未来を見据えて考える場としたいと思います。

学術集会では、オンデマンド配信とライブ配信を行い、現場の実践者と教育研究者が集い、教育や研究の意義や成果を確認して、新たな地域看護の挑戦へと一步踏み出すことができればと思います。共生社会を多様な観点で理解し探求するための特別講演・教育講演・シンポジウム・指定集会、地域看護の実践知を蓄積していくための研究力向上セミナー・一般演題・ワークショップなど 20 以上のプログラムを企画いたしました。

多くの皆様方とオンラインでつながり、交流できることを楽しみにしております。

日本地域看護学会第 24 回学術集会 学術集会長 岸 恵美子
(東邦大学大学院看護学研究科 教授)

Web 開催の方法

- 当学術集会は「Confit」というシステムを利用し、Web上で開催します。
PC・タブレット・スマートフォンなどでご参加いただけます。
- 動画等の掲載もあり、通信量が多くなることが想定されますのでご注意ください。
- 期間中いつでも視聴できる「オンデマンド配信」と、リアルタイムで配信を行う「ライブ配信」を実施します。一般演題はオンデマンド配信のみ、その他のプログラムはオンデマンド配信と意見交換のライブ配信を予定しています。
- 各講演・演題・ワークショップのページにはコメント掲示板があり、質疑応答を行うことができます。
- オンライン開催のページ閲覧には、個別認証によるログインが必要となります。
ログインに必要な番号とパスワードは入金後にメールでお知らせします。
- 開催方法についての詳細は学術集会ホームページでご確認ください。

<ご注意>

- ログインのための番号とパスワードは他者と共有しないでください。オンライン開催ページを閲覧する方は必ず1人ずつ参加登録・参加費のお支払いが必要です。
- 発表内容の保護にご協力ください。ダウンロード可能な配布資料以外については録画、録音、スクリーンショットの撮影などの記録行為は厳禁です。

プログラム

学術集会長講演

共生社会を目指す地域看護（仮）

：岸 恵美子（東邦大学大学院看護学研究科 教授）

特別講演

I. “生きる”に寄り添う

～誰もが「居場所」「つながり」「役割」がもてる社会へ～（仮）

：阿部 彩氏（東京都立大学人文社会学部 教授）

II. 精神障害者を支える活動から「私たち」が、町で生き抜くための実践へ（仮）

：長野 敏宏氏（特定非営利活動法人ハート in ハートなんぐん市場 理事／
公益財団法人正光会御荘診療所 所長）

III. 地域共生社会の実現に向けて

～世代をつむぐ、地域をつなぐ、循環する共生社会の創生～

：藤原 佳典氏（東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム
研究部長／東京都介護予防・フレイル予防推進支援センター センター長）

教育講演

I. 地域の健康行動を支える

～自らの意志で健康向上や回復に向けて取り組んでいただくために～

：福田 吉治氏（帝京大学大学院公衆衛生学研究科 教授）

II. 一人一人の力がしなやかなチームを作り上げる～組織論の観点から～（仮）
：西條 剛央 氏（Essential Management School 代表）

III. 重症心身障礙児者とその家族が災害の中で生きることを支える
～東日本大震災での避難や生活の難しさから～
：山本 美智代 氏（東京都立大学健康福祉学部 教授）

シンポジウム

I. 共生社会と well-being（幸福・健康）～つながりから共創～～
：紅谷 浩之 氏（オレンジホームケアクリニック 理事長 医師）
：福井 大輔 氏（アンダンチ 代表取締役）
：樋口 千恵子 氏（特定非営利活動法人たんがく 理事長 保健師）

II. 地域包括ケアにおける看護職の役割
～医療・看護・介護・福祉の連携・協働で目指す共生社会～（仮）
：野澤 幸江 氏（広島県整備厚生環境事務所広島支所西部保健所広島支所保健課
健康増進係 係長）
：磐城 美樹 氏（檜葉町地域包括支援センター センター長）
：諫訪部 高江 氏（訪問看護ステーションおこ SUN 管理者）
：力石 泉 氏（公益社団法人豊郷病院 地域包括統括部長看護部長）

III. 新型コロナウイルス感染症対策の実践から学ぶ
～私たちは何ができるか、これから何をすべきか～（仮）
：尾島 俊之 氏（浜松医科大学医学部医学科 教授）
：春山 早苗 氏（自治医科大学看護学部 学部長・教授）
：馬場 順子 氏（福岡県筑紫保健福祉環境事務所 参事兼健康増進課長）

IV. 看護基礎教育に必要な地域看護とは
～「地域・在宅看護論」の教育で目指す新たな地域看護～（仮）
：宮本 千津子 氏（東京医療保健大学千葉看護学部 副学長・教授）
：河野 あゆみ 氏（大阪市立大学大学院看護学研究科在宅看護学領域 教授）
：大木 幸子 氏（杏林大学保健学部 教授）
：宮崎 美砂子 氏（本学会理事長／千葉大学大学院看護学研究科 教授）

理事会企画セミナー

「Society5.0」の社会における人びとのライフスタイルの展望と新たな課題
～ポスト・ウイズコロナ社会への転換を視野に入れて～（仮）
：乙部 由子 氏（元名古屋工業大学 特任准教授／
特定非営利活動法人ウイメンズボイス 理事）

パネルディスカッション

I. 地域における死別サポートの未来を考える
：工藤 朋子 氏（岩手県立大学看護学部 教授）
：大島 泰江 氏（特定非営利活動法人訪問看護ステーションコスモス 主任／
訪問看護認定看護師）
：篠原 良子 氏（家で死ねるまちづくり はじめの一歩の会 会長）

II. 共生社会の実現に向けた看護者の倫理

- : 会田 薫子 氏 (東京大学大学院人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター 上廣講座 特任教授)
: 手島 恵 氏 (千葉大学大学院看護学研究科・病院看護システム管理学領域 教授)
: 吉川 久美子 氏 (日本看護協会 常任理事)

III. 共生社会を支える支援者同士の横のつながりづくりを考える

- : 木村 志義 氏 (一般社団法人ペガサス 代表理事)
: 高木 智子 氏 (株式会社アルビオン 本社 健康管理室 保健師)
: 並木 美砂子 氏 (浦安市福祉部 中央地域包括支援センター 所長 保健師)

IV. コロナ禍が進めた働き方改革～新たな働き方と産業保健看護活動～

- : 岡田 瞳美 氏 (富士通株式会社健康推進本部健康支援室 室長 保健師)
: 松坂 亜紀子 氏 (株式会社インテージ・アソシエイツ 本社健康づくり推進部 保健師)
: 岡林 知代子 氏 (東京海上日動火災株式会社 本社 人事企画部ウェルネス推進室 保健師)

指定集会

I. 地域での新たな看護の展開

- ～看護を提供する多様な主体と、ともに支え合う地域づくりへの参画～（仮）
: 矢田 明子 氏 (島根県雲南市 Community Nurse Company 株式会社 代表者 看護師)
: 小松 亜矢子 氏 (横須賀まちの保健室プロジェクト)
: 川田 喜久江 氏 (横須賀市福祉部健康長寿課 介護予防係長)

II. どのように生きていくのか、健康的によりよく生きるを支える

- ～新しい訪問看護の活用のあり方～（仮）
: 富田 薫 氏 (千葉市若葉区保健福祉センター所長 兼 高齢障害支援課課長)
: 平原 優美 氏 (あすか山訪問看護ステーション 総括所長)

研究力向上セミナー

I. 将来を見据えながら目前の課題に取り組む実践研究

- ～介護事業所との協働研究を CBPR の理論と視点から読み解く～
: 成瀬 昂 氏 (東京大学大学院医学系研究科 講師)

II. 保健医療福祉における実装研究の理論と可能性

- ～住民協働の健康まちづくりを例に～
: 今村 晴彦 氏 (東邦大学医学部 助教)

市民公開講座

人とのつながりが健康への近道～つながりと健康格差～

- : 村山 洋史 氏 (東京都健康長寿医療センター研究所 専門副部長)

一般演題、ワークショップ、共催セミナー、企業展示

※ 上記は予定であり、所属先・内容等について今後変更する可能性があります

一般演題 募集要項

1. 募集種別と発表方法

口演 : 10分以内の音声入り動画ファイルによる発表

示説 : pdfファイルによる発表（大判1ページ、複数枚スライドいずれも可）

※ 口演・示説の種別については、申込後、発表ファイル作成時にも変更可能です。

※ 各ファイルはダウンロードができないようセキュリティ設定を施したうえで
オンライン開催ページに掲載します。

※ 一般演題発表はオンデマンド配信のみでライブ配信はありません。

2. 申込方法

申込〆切 : 2021年4月26日（月）23:59

申込方法 : オンライン（Confit 演題登録システム）による登録にて募集します。
当学術集会ホームページにアクセスのうえ、お申し込みください。

3. 発表者の資格

- 筆頭者は参加登録及び参加費の支払いが必要です（共同発表者は必須ではありません）。
- 発表者は、共同発表者を含めてすべて申込時点で本学会員（申込中を含む）に限ります。申込み時点で非会員の方は、2021年4月末日までに入会申込手続きを済ませてください。なお、入会年度については下記をご参照ください。

<入会年度について>

- (1) 2020年度入会を希望される場合には、2021年2月15日までに入会申込手続きを済ませてください。
- (2) 2021年度入会を希望される場合には、2021年4月末日までに入会申込手続きを済ませてください。なお、申込時に学生の方で2021年3月に卒業見込の方は、2021年度入会としてください。

4. 注意事項

- 1) 発表者1人につき、1演題の申込みとします。ただし、共同発表者としての連名はこの限りではありません。また、ワークショップにもお申込みいただけます。
- 2) 発表内容は、未発表のものに限ります。
- 3) 原則として、演題登録期間を過ぎての演題抄録の修正はできません。
- 4) 演題登録後に発表者を変更する場合は、必ず運営事務局へご連絡ください。なお、変更した発表者も会員の資格と参加登録が必要となります。
- 5) 演題番号については、査読の結果（採否）通知ののち、学術集会開催日の1～2か月前に通知します（当学術集会ホームページにも掲載します）。
- 6) 演題登録に関するお問い合わせは、原則として発表者が行ってください。第三者（共同発表者等）からのお問い合わせには、お答えすることはできません。
- 7) フリーメールのアドレスや携帯のメールアドレスをお使いの場合、登録完了メールが届かない等の不具合が生じる場合がありますのでご注意ください。

5. 演題抄録原稿作成方法

当学術集会ホームページの一般演題登録ページより、Web フォームの項目入力によって演題抄録原稿の登録を行ってください。抄録文字数は 1,000 文字以内とします。
登録前に Word ファイル等で原稿を作成されることをお勧めします。

6. 査読

- 1) 査読の結果(採否)については、発表者宛てにメールで 6 月上旬にお知らせします。
6 月上旬に査読の結果が届かない場合は運営事務局までご連絡ください。
- 2) 査読結果により修正等をお願いする場合があります。必要な場合はご連絡します。

7. 注意事項

- 1) 個人名、施設・事業所名、地域名などの固有名詞は、倫理面にご注意のうえ、公表可能な場合のみ記載するようしてください。
- 2) 倫理的配慮についての記載と利益相反(COI)についての開示を入れてください。
- 3) タイトル・サブタイトルに(その 1)(その 2)等を記載することは可能ですが、発表順は学術集会事務局に一任ください。

ワークショップ募集要項

地域看護の実践・教育・研究にかかわる問題提起や方法の検討などのテーマを数題募集します。

1. 発表方法

動画ファイル(60 分以内)または pdf ファイルの掲載による発表と、意見交換のライブ配信(Zoom ミーティング等※により 60 分間開催予定)

※ Zoom ミーティング、もしくはそれに代わるオンラインミーティングの会場は世話人ご自身で立ち上げていただきます。

2. 申込方法

申込〆切 : 2021 年 4 月 26 日(月) 23:59

申込方法 : オンライン(Confit 演題登録システム)による登録にて募集します。
当学術集会ホームページにアクセスのうえ、お申し込みください。

3. 世話人の資格

- ・ 代表世話人・共同世話人は全員参加登録及び参加費の支払いが必要です。
- ・ 代表世話人・共同世話人のうち、必ず 1 名以上が申込時点で本学会員(申込中を含む)であることを条件とします。入会についての詳細は 5 ページ「3. 発表者の資格」をご参照ください。

4. 抄録作成方法

当学術集会ホームページにてご確認ください。抄録文字数は 1,000 文字以内とします。

5. 査読結果・実施日時の通知

- 1) 査読の結果(採否)については、発表者宛てにメールで 6 月上旬にお知らせします。
6 月上旬に査読の結果が届かない場合は運営事務局までご連絡ください。
- 2) 査読結果により修正等をお願いする場合があります。必要な場合はご連絡します。
- 3) ワークショップ番号やライブ配信実施の日時等については、査読の結果(採否)通知のうち、学術集会開催日の約 1~2 か月前に通知いたします(学術集会ホームページにも掲載します)。

6. 注意事項

- 1) 個人名、施設・事業所名、地域名などの固有名詞は、倫理面にご注意のうえ、公表可能な場合のみ記載するようにしてください。
- 2) 倫理的配慮についての記載と利益相反(COI)についての開示を入れてください。

参加登録方法

1. 参加費と登録期間

区分	前期登録 (~7/20)	後期登録* (8/2~9/23)
会員	講演集冊子送付あり 10,000 円	講演集冊子送付なし 12,000 円
非会員	講演集冊子送付あり 12,000 円	
学生(院生を除く)		講演集冊子送付なし 3,000 円

*オンデマンド配信期間中も参加登録を受け付けます(9月 24・25・26 日を除く)

- ・印刷冊子の送付有無にかかわらず、すべての参加者がオンライン開催ページで講演集の pdf をダウンロードできます。
- ・前期登録でお申し込みの場合は、7月 20 日までに入金をお済ませください。
- ・観聴する方は全員、1 人ずつ参加登録と参加費のお支払いが必要です。

2. 申込方法

当学術集会ホームページの参加登録ページからお申し込みいただき、口座振込、またはクレジットカード決済により参加費をお支払いください。

<参加費お支払い時の注意>

- 1) 銀行振込を選択すると、参加者それぞれに個別の振込口座番号が用意されます。
このため、振込人の名義がどなたであっても、その口座に該当金額の入金があれば入金完了となります。
- 2) 振込先口座は参加者ごとに異なるため、複数名の参加費を一度に入金することはできません。また、振込先口座の有効期間は14日間です。期間内にお振込みください。
- 3) お支払い済みの参加費等の返金には基本的に応じられません。
- 4) 申込時に非会員であって、入会申込のうえ会員資格で事前申込をされる方は、入会年度を選ぶことができます。入会についての詳細は5ページ「3. 発表者の資格」をご参照ください。
- 5) 請求書の発行は致しかねます。どうしても必要な場合は問い合わせ窓口にご相談ください。
- 6) 領収書はpdfで発行します。参加登録ページにログインして、ご自身で発行手続きを行ってください。宛名もご自身で変更可能です。

3. 講演集について

印刷冊子の送付有無にかかわらず、ご希望であればどなたでも、講演集を1冊2,500円(税込)で購入できます。購入方法については後日学術集会ホームページに掲載します。

お問い合わせ

日本地域看護学会 第24回学術集会 問い合わせ窓口 (学会入会・学術集会全般)

(株)ワールドプランニング

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4-1-1 オザワビル2F

Tel: 03-5206-7431 Fax: 03-5206-7757 E-mail: jachn24@worldpl.jp

お問合せ時間: 土・日・祝日を除く 10:00~17:00

日本地域看護学会 第24回学術集会 事務局

〒143-8540 東京都大田区大森西4-16-20 東邦大学

E-mail: jachn24@ml.toho-u.jp

※お問い合わせはメールにてお願ひいたします。事務員は常駐しておりませんので、回答が遅れる場合があります。余裕をもってお問い合わせください。

日本地域看護学会 第24回学術集会 オンライン開催担当 (株)ユピア

E-mail: jachn24@yupia.net

※ 参加登録、演題・ワークショップ申込情報は上記内で共有させていただきます。

お預かりする情報は当学術集会の開催のみに利用し、その他の目的に利用することはありません。また、情報は厳にこれを保護します。